

白川郷の合掌造り



第 27 号
令和7年3月31日

発行 (一)世界遺産白川郷
合掌造り保存財団
岐阜県大野郡白川村荻町
2495番地の3

保存と観光と暮らしのバランスをとり続ける！

観光政策の現状と今後の展望

白川村観光振興課長

吉 實 秀 典

ライトアップイベントの始まる前、ゴミ袋と火バサミを手に展望台までの道のゴミを拾います。ホッカイロにマスクなどなど、瞬間に袋はいっぱいです。雪が解けたら田んぼもゴミだらけだろうなと思うと、少ししんどい気持ちになります。ライトアップだけでなく、白川郷は、合掌造り集落の美しい風景と世界遺産としての価値から、国内外より非常に多くの観光客を迎えています。国では二〇二四年の訪日外国人観光客数が過去最高となっています。村でも村営駐車場の年間普通車入込台数が二四二、七〇四台（一月末）と過去最高を記録、コロナ禍前の一・二四倍となり、オーバーツーリズムによる影響が顕在化しています。

現状の課題

観光客の増加に伴い、ゴミの投棄や、交通渋滞、敷地や住宅に入り込むなどのマナー問題、住民の生活環境への影響は深刻化しています。特に、国道一五六号が渋滞する頻度が増し、観光客のみならず、住民の日常生活や緊急車両の通行にも支障を及ぼしています。

このままでは、観光客も住民も疲弊してしまい、お互い悪い感情が残らなくなるのではないかと、白川郷が持っている質の高い観光地としての基本が崩れてしまっているのではないかと心配をしています。質の高い観光地としての基本とは、美しい風景と文化、美味しい郷土料理やお土産、観光客と住民の交流、もてなしの心だと思っています。

今後の対策と展望

これから基本となる白川郷の魅力を次世代に継承し、持続可能な観光地づくりを目指していかねばなりません。そのための行政の対策や、観光事業者、住民皆様の取り組みについてご紹介をさせていただきます。

1. 環境と生活文化の保存

今年、世界遺産登録三十周年、その価値と誇りを再認識する節目の年を迎えました。世界遺産としての価値は、合掌造り民家群や「結」作業だけではなく、祭礼行事や火の番廻りなど、合掌集落を守っていく暮らしその



ライトアップ

また、マナー啓発活動の強化を進めています。観光庁の補助金を利用して、レスポンスブルーツーリズム（責任ある観光）

のものにもあると思っています。人口減少と時代の変化の中、生活文化を守り続けている住民皆様に敬意を表し、観光客による環境負荷を適切に抑える取り組みを推進しなければならぬと考えています。

2. 観光客の適正管理

ライトアップイベントでは、二〇一九年一月から駐車場の完全予約制を実施し、二〇二四年一月からは、チケット制を導入しました。駐車場予約者にチケットを渡し、チケットのない来訪者の集落への入場を制限しました。ライトアップ実行委員会によるこの取り組みの結果、ライトアップでの渋滞や混雑は大幅に解消されました。こうした成功例をもとに、観光客の受入れ環境を最適化するため、年末年始など、オーバーツーリズムとなる期間の総量規制について、検討していく時期に入っていると感じています。

に取り組んでいます。観光客に、世界遺産集落は「そこに暮らしが息づいていること自体に価値がある」ということを理解してもらい、責任ある行動を取っていただく試みです。マナーブックの配布や特設サイトを展開しています。また、観光事業者で組織する「荻町発展会」は、継続的な地域のゴミ拾いを行っていますし、「他の店舗からのゴミでも早く引き取る」と呼びかけるなど、観光客と住民皆様の共育を目指す取り組みも継続強化して頂いています。

3. 交通対策と財源対策の強化

これまで一時的な駐車用に開放していた荻町城跡展望台駐車場は、付近で恒常的な路上駐車や渋滞が起ころうになったため、二〇二四年一月より閉鎖するしかなくなりました。これにより観光客が展望台へ行くには、民間会社の運行するシャトルバスを利用するか徒歩かのどちらかとなりました。こうした対策に際して、荻町区長を委員長とし、行政や関係団体の代表で組織する「荻町交通対策委員会」で話し合いを重ねています。今後集落の交通対策について地域を交えた協議が続きます。

村では渋滞対策として観光客への事前周知を目的に混雑情報サイト「白川郷すんなり旅ガイド（SHIRAKAWA-GUIDE）」を開設し、混雑予想カレンダーや渋滞状況をライブカメラで確認できるように整備しました。また、村営駐車場の駐車料金の一部を世界遺産の保存経費などに充てておりましたが、この駐車料金をオーバーツーリズム対策などのため値上げすることや、大型バスの駐車予約制の導入について検討を進めています。また、白川郷バスターミナルに乗り入れる路線バスは、年々増便され観光客で飽和状態であることから、乗り入れ本数を規制しました。さ

らにバスターミナルへのバス乗り入れ料を値上げし、観光客受け入れにかかる様々な経費に充てる仕組みの構築を新たに進めています。



渋滞と路上駐車

4. 地域経済の活性化と分散化

観光客が村内各所に分散するよう、周辺エリアの魅力発信を強化していきます。特に南部地域において観光まちづくりに取り組み、体験型プログラムの充実を図っています。また、白川村で育った結旨豚、これから着工される酒蔵の誘致、近年関心の持たれている発酵食レシピの開発、白川郷米のブランド化と村内流通など、地元産品の開発や消費促進が進められています。

終わりに

白川郷の魅力を次世代に継承するためには、文化の保存、観光振興と住民生活のバランスが欠かせません。人口減少や外国人観光客の急増によるオーバーツーリズムなどで、もともと崩れがちになる、保存と観光と暮らしのバランス。このバランスをとり続けるために、これまでも荻町住民の皆様は、対話を繰り返し、知恵を出し合ってきました。これからも行政・観光事業者・住民が一体となり、バランスをとり続ける不断の努力をもって、持続可能な観光地づくりに取り組んでまいります。その中で観光客の皆様には、白川郷の歴史と文化を尊重しながら、地域と共生する観光を楽しんでいただけることを願っています。今後とも、住民皆様のご理解とご協力を頂きますよう宜しくお願い致します。

せせらぎ駐車場の 大規模修繕工事が始まります！

R7. 6/2～

平成9年3月から拡充と小規模修繕を重ねてきたせせらぎ公園駐車場ですが、舗装の劣化が著しいため地盤からしっかりと舗装しなおすことになりました。数か月間の工事中は、みだしま・寺尾の両臨時駐車場を常設することで対応しますが、大型バスをはじめとして受入枠が十分でないため渋滞などが発生する可能性があります。しばらくの間、ご不便をおかけしますがご理解、ご協力をお願いします。



工事区域

お互いが気分よく過ごせるように



冬用タイヤ装着呼びかけ

著しい観光客の増加に伴い、白タクや白バスはもちろん、緑ナンバーでも観光時間を守らない、あるいは路上駐車を繰り返す場面を毎日のように見かけます。冬場には相変わらずノーマルタイヤのレンタカーもやってきます。こうした状況を改善するため、財団では国交省中部運輸局や岐阜県警などとの連携を強化し、啓発活動やパトロールなどに全面的に協力しています。この他にも、日本語、英語、中国語の3か国語でマナー啓発を訴えるアナウンスを駐車場で毎日放送し、互いの思いやり、指定場所での喫煙、ごみの放置や私有地侵入禁止、歩行者天国ではない、観光は17時までといった内容を訴え続けています。

また「観光客へのおもてなしと住民の快適な暮らし」の両立や除雪費の財源確保等のため、令和7年10月には駐車料金の値上げが予定されておりますし、バスの駐車場予約制も検討を進めてまいります。トイレ不足やごみ問題についてもこうした財源をもとに村などとともに対策を検討していきます。

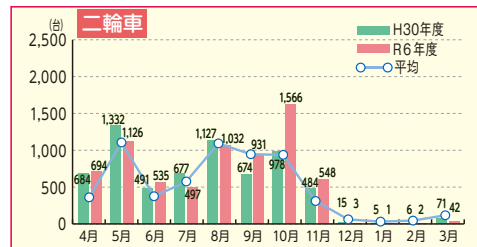
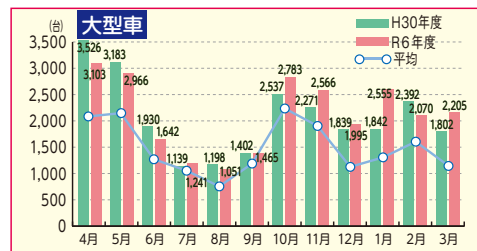
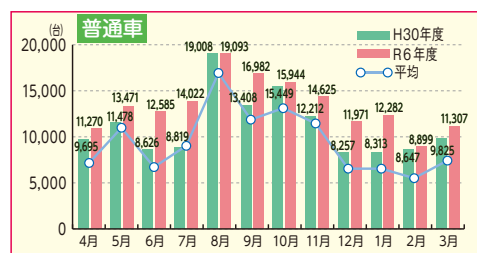
押し寄せるインバウンド、普通車・大型車ともに過去最多！

令和6年度せせらぎ公園駐車場の普通車利用台数は過去最多だった令和5年度146,092台を11.2%上回り162,451台を、大型車も同平成30年度25,061台を2.3%上回り25,642台を記録しました。この駐車場は年中無休であるため、日平均で普通車445台、大型車70台の利用が続いていることになります。さらに令和6年度のみだしまと寺尾駐車場の台数も加算すると3駐車場の合計で普通車は245,090台、二輪車は7,894台もの利用があるため、集落内に観光客が溢れているのもうなずけます。とりわけ8月の普通車利用台数は突出しており、降雪月の利用台数の約2倍に相当します。

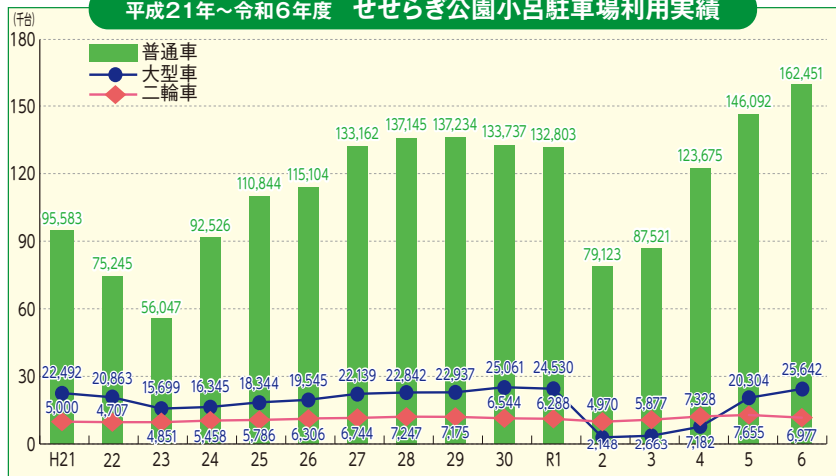
せせらぎ公園駐車場は、普通車と大型車の両方に対応できるよう設計されていますが、利用可能台数には限界があり、かつ新たに駐車場を増設していくことは非現実的であることから、既存の資産とその設備をいかに効率的に運用していくかが、渋滞緩和や住民・観光客の満足度向上への大きなカギとなります。

財団として、まずは大型車（バス）の駐車利用枠について予約制を導入することで普通車の利用枠を最大限確保できるよう令和7年度に村とともに本格的に検討を進めてまいります。

過去17年間の月別平均比較



平成21年～令和6年度 せせらぎ公園小呂駐車場利用実績



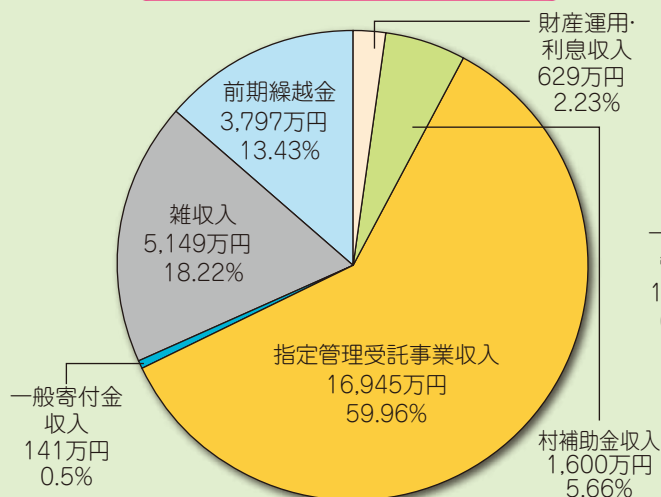
…一般財団法人世界遺産白川郷合掌造り保存財団…

令和6年度

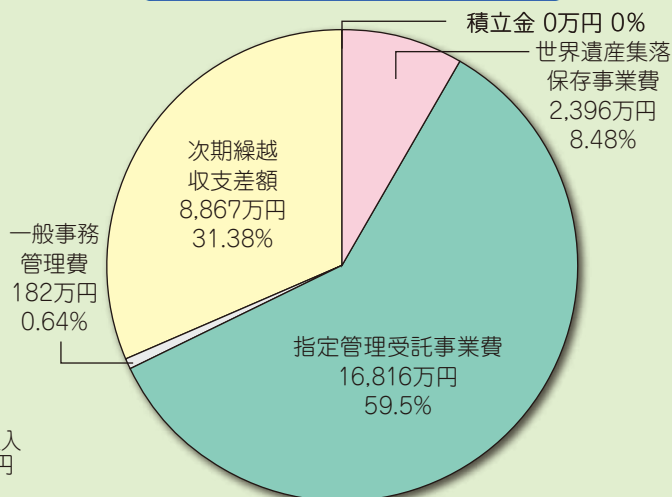
会計のあらまし

～財団の収入と支出の会計状況についてお伝えします～

歳入 2億8,261万円



歳出 2億8,261万円



令和6年度の実施事業

1. 修理事業	3,157,000円
差し茅	0円
伝統的建造物修理	1棟 337,000円
棟茅葺替	92/108棟 2,820,000円
トタン屋根葺替	0円
2. 修景事業	7,022,876円
修景協力費助成	2棟 1,967,000円
トタン屋根葺替	2棟 741,000円
ビニールシート指定色奨励事業	0円
一般建築物茅屋根補修	棟茅1棟 葺替1棟 4,137,000円
オダレ助成	25枚 177,876円
3. 地域活性化事業	3,458,545円
自治保存会活動費助成	1,000,000円
自治保存会育成事業	金沢市 464,145円
人材育成事業	41,910円
茅の自給率向上施策と調査研究	1,952,490円
4. 水田復旧事業	2,634,981円
復旧農地の維持管理・活用	水田42.5a、畑0.7a 2,634,981円

合 計 16,273,402円

※所有者不明土地・家屋管理人申立に伴う予納金 530 万円は実績未確定のため除外

財源内訳

村補助金	15,000,000円
基金運用利息	1,273,402円

合 計 16,273,402円

財団は世界遺産の合掌造り集落を保全し、後世に残していくための公益事業を行っており、主な経費は村営駐車場の指定管理業務における利用料収入を財源とした委託料で賄われています。財団設立当初よりせせらぎ公園駐車場と付随する総合案内所の管理運営を行っており、現在は寺尾・弥陀島臨時駐車場も安全かつ効率的に駆使することで、繁忙期の渋滞緩和に努めています。

駐車場の利用料金は財団を通じて村に収納され、駐車場や施設の維持管理費に充てられるとともに、一部は指定管理料として財団の歳入となります。また、世界遺産(伝建保存)地区の修理・修景助成、地域振興策等にも充てられ、事業計画に応じ村から補助金として歳入されます。

令和6年度のせせらぎ・寺尾・弥陀島駐車場の総収入は、3億2,291万円となりました。指定管理料として1億6,945万円、集落整備事業及び運営費補助金として1,600万円を村からの収入とし事業を実施しました。

なお、今年度末には次年度に実施する大規模修繕工事のため、基金の一部1億円を取り崩しております。これにより基金の総額は約6億5,330万円と減少していますが、財産運用利息収入は昨年度より若干多い629万円となり、財団の貴重な財源として集落保存事業を中心に活用されています。

財団が保持している基金の現在額(令和7年3月末)

基本財産	302,361,000円
特定資産	350,943,373円
合 計	653,304,373円

荻町集落の 景観保全のために...

白川郷学園 2年生 とのサツマイモづくり

6月4日
苗植え

まずは展望台から見た写真を使ってなぜここにサツマイモを植えるのかを学んでもらいます。展望台から眺めたときの休耕田になっているときの写真と、この事業を始めてからの写真を見比べて、サツマイモの緑の景色がどれだけ展望台から見たときにきれいに見えるか、観光客はどう感じるかを想像してもらいました。



今年度は学園の
児童14名が行って
くれました。

水田復旧事業

合掌財団では平成16年度より荻町集落の景観を守ることを目的に、休耕田での稲作や白川郷学園の児童の皆さんとサツマイモ畑づくりを行っています。田植え後には水田協力隊による間差しのお手伝いもいただいています。



今回のサツマイモは「紅はるか」で100本の苗を用意しました。児童の皆さんが『おいしくて大きいのが育つといいね』とワクワクしながら植えている姿を見て、景観が良くなることはもちろん、おいしいサツマイモが収穫できることを願いました。曇り空でしたが、皆さんで協力して合計100本の苗をていねいに植えることができました。

最後に大きくなあれと愛情をこめて一人ずつ苗にしっかりと水をやり作業を終えました。その後、皆さんは歩いて展望台に元気に上がり、実際に苗を植えた場所を確認していました。



10月11日
サツマイモ
掘り

この日を迎えるまでに、学園の授業のなかでは、水の神様、畑の神様などたくさんいらっしゃる、今日はどんな神様に会えるかなといった時間を設けてくださっていました。日頃の心がけがよく、気持ちよく晴れた収穫当日の朝、待ちに待ったサツマイモ掘りに元気にやってきてくれました。

前もって草取りを根気よくきれいにやってくれていたおかげで、地表がはっきり出ていて畑のコンディションは、いも掘りに最適！

冒頭、今日は畑の神様の恵みをいただきましょう、と学園の皆さんにお話をし、ウキウキ児童の皆さんは、うね沿いに1列になって次々に畑の土の中に手を入れていきました。珍しい昆虫にドキドキや怖さも入り交じりながら、とてもにぎやかに、そして熱中して次々に大小さまざまなサツマイモたちを引き抜いていきました。

立派なさつまいもが掘れたあとは、『こっちにまだあるかも！』『見てみて！まだここにこんな大きいのがあったよ！』と畑のすみすみまで掘りきってくれました。今回は全部で手みの山盛り6個分となり大満足の収穫でした。

収穫後は、さつまいものツルでリース、ブーケ、ドレス、冠などそれぞれが思い思いに作っていき、ちょっとしたファッションショーが展開されました。

その後さらに、展望台へ向かう道中、田んぼの水はどこからやってきているのかを確認するため、水路をたどる探検をしていきました。水路の水を板



でせき止める実演も織り交せて大きな水路からどうやって遠くの田んぼまで水を引き込むのか、昔の人の知恵と苦労を想像しつつ？！水路を走り出す水の流れを興味深く追いかけていました。

こうして今年も、苗植えから草取り、いもほりまで児童の皆さんだけではなく、職員もとても楽しみながら景観を保全することができました。ありがとうございました！



田植え・稲刈りを
お手伝いしたい方大募集中!!

ぜひ一緒にやりましょう!

財団が耕作している田んぼは機械が入らないところが多く手植えで大変ですが、毎年皆さんに頑張っていたいただいているおかげでとても助かっています。これからご協力よろしくお願いします！

合掌集落内の景観を守る

解体前



令和6年度、合掌財団では、伝建保存地区内の歴史的風致を損ねる物件について、地域住民の意向も十分反映しながら、助成検討委員会にて慎重に審議の上、除去に要する費用の一部を助成しました。

危険家屋化して周囲に危害を加えてしまう前に、まずは空家を発生させないよう努めていく必要がありますし、今後の管理などに困ったときには、お近くの地域の

守る会メンバーなどへ早い段階から遠慮なく相談をしていただくとよいでしょう。ご家族の中でも「まだ早いよ」といっている段階から、正月やお盆など家族が多く集まるタイミングに、活用や処分について相談を進めておかれることをお勧めします。

解体後



茅の「刈取り」も「結」が必要

～茅の自給率向上の取組み～

村では馬狩などに広大な茅場を造成しており、財団所有の茅刈機により、令和4年度から村内産茅の刈取りに取り組み続けています。今年度は村で有する茅場で黒木雄太さんがほぼ全ての茅を刈取り、約2500束（13束で1メ）を産出できました。村の茅の自給率は約25%と少しずつ向上しているものの、村内で必要な約1万束の確保には遠く及びません。

また、少ない収量のなかでも品質を高め豊富な収量を確保していくためには、夏場の蔓草の除去や土壌改良も必要であり、令和6年5月には、地元消防団の協力も得ながら野焼きを行うなど、生育環境の向上に努めています。

こうした取組みは一部の関係者のみで行うにも限界があり、合掌家屋の所有者がこの課題を自分ゴトとしてとらえるのはもちろん、地域ぐるみで取り組んでいく必要があると強く感じています。村内外における茅に関するイベントや維持保全活動などの機会には、ぜひ積極的なご参加、ご協力をお願いします。



茅場の野焼き

～茅の安定供給への取組み～

白川郷で不足する茅を補うため、令和5年度に続き、御殿場の茅場へ茅刈機を運び入れ、川田晋也さんが中心となり令和6年12月から3月にかけて大規模に茅刈作業を行いました。御殿場の茅場は野焼きを毎年行うなど手入れが行き届いて生育状態がよく、機械での刈取りもしやすい環境にあります。

しかしながら、機械で刈り取った茅を束ね、あまりに広大な茅場の道なき道を軽トラックで突き進み、積み込んで運びだし、一時保管場所まで運搬し、積み下ろして保管しておく、といった一連の作業手順のいたるところで「人手が不足」するため苦戦しています。



御殿場における茅の積込作業

今回の茅刈機械の使用で約2500束を産出できましたが、白川郷などからの応援（人手）があればもっと多くを収穫できます。実は御殿場においても茅の刈り取り手や収量は減少の一途で、5年後に白川郷へ提供できる茅束は現在の半分を確保できるかどうかと告げられており、安定供給は喫緊の課題となっています。村内茅場での自給率向上もさることながら、白川郷への茅の安定供給を図ることも、いま、私たちに問われています。自分には何ができるのか、どうすべきなのか、今こそ真摯にこの課題に向き合うときなのです。



ありがとうございます 寄附金ご協力者一覧 (敬称略)

皆さまからいただきましたご厚意に心より感謝申し上げます。ご協力いただきました皆さまをご紹介します。

※竹筒募金は都合により回収できている分のみのご紹介としています。この他にも多数ご協力いただいております。全てをご紹介できず申し訳ございません。

令和6年度

岐阜県 (株)三輪酒造
埼玉県 尾崎和夫
岐阜県 (株)林工務店
愛知県 伊藤睦子
岐阜県 可児洋明
兵庫県 西本喜久子
東京都 南里幸貴
兵庫県 西本喜久子
滋賀県 株式会社文教スタジオ
愛知県 株式会社日本旅行

竹筒募金

白川郷の湯
トヨタ白川郷自然学校
民宿 十右衛門
民宿 志みづ
民宿 のだにや
民宿 久松
民宿 ふるさと
民宿 利兵衛
民宿 孫右衛門
民宿 源作

民宿 よきち

民宿 大田屋

お食事処 忠兵衛

基太の庄

白楽

心花洞

文化喫茶 郷愁

いっぽく ちな

花水木

落人

たなか屋

けやき

与ぜ

白水園

いろり

喫茶 さとう

あらい

てんぼうだいのカフェ

ます園文助

柊

コーヒー屋 鄙

合掌

そば脇本

盛善

元気な野菜館

恵びす屋

おいしんぼ

かたりべ

ぜん助家

今藤商店

こびき屋 柿の木店

めめんこ

こびき屋

古太神

道の駅白川郷

(有)城山

国重文 和田家

ふる郷 長瀬家

神田家

県重文 明善寺

合掌造り民家園

白川村役場

(一社)白川郷観光協会

部活 in 天守閣!2024

現在、店舗に合掌基金募金箱の設置がなく、設置希望の方や、募金箱の破損などで交換を希望される方がありましたら当財団までご連絡ください。



世界遺産白川郷合掌集落保存基金にご理解とご協力を

合掌財団では、合掌造り集落の保存とその集落内の住民の暮らしを守るため、合掌家屋の修理や集落の修景など、景観保全に関わるさまざまな課題に対応する事業を展開しています。

これらの事業は、基本財産から生じる運用益を財源に行っていますが、必要事業費にはるかに及ばない現状です。そのため緊縮した村会計から捻出して対処しています。今後、当財団に要請され

る事業が、社会情勢の変化によってもなっています。多様化し、一層責任が増大していくものと予想されます。

つきましては、当財団がこのような課題にできるだけ適確に対処できる体制を整えることが、世界遺産合掌集落の保存に欠かせない条件です。

ぜひとも当財団の活動趣旨にご賛同いただき、皆様の温かいご支援、ご協力をお願いします。

●振替による場合

基金に対する
ご寄付お送り先
及び資料請求先

★【口座名義】世界遺産白川郷保存基金
・郵便振替口座 00810-6-51954
・飛騨農業協同組合白川支店(普) 9203800

●現金書留による場合及び資料請求先

〒501-5627 岐阜県大野郡白川村荻町2495-3
(一財)世界遺産白川郷合掌造り保存財団
TEL(05769)6-3111 FAX(05769)6-3113
★インターネットでも受け付けています。
<https://www.vill.shirakawa.lg.jp/2326.htm>

編集後記

コロナ禍を経て円安の高止まりのなかインバウンドの勢いは止まらず、令和6年度の駐車場における普通車月別入込は2月をのぞいて前年度を上回り続けました。これに伴い、世界遺産集落内には観光客が溢れ、その他の地域にも多くのお客様を見かけるようになりました。

観光消費額への貢献の一方で、マナーや渋滞への問題も多く発生するようになり、このままでは100年後に果たしてこの集落は健全な状態で環境を保全できているのか疑問を抱いていらつしやる方も少なくないのではないのでしょうか。

ほかにも、相続人不存在による空家や、管理人不在による危険家屋化といった問題、合掌家屋の屋根素材である茅の自給率向上の難しさや安定供給の危うさなど、この集落を取り巻く環境は厳しさを増しています。

合掌財団としても、こうした諸問題の解決に向けて、名古屋大学・大学院情報学研究科などとともにデジタルの力も活用しながら、村や守る会など関係するさまざまな団体としっかり連携し100年先まで見据えた持続可能な集落づくりに取り組んでまいります。

またこの年度末をもって事務局長が交替します。令和3年4月から「大澤珠生」が就任(村役場からの派遣)していましたが、この3月をもって退職となりました。関係する皆様には大変お世話になりました。有難うございました。4月から「山田雅彦」が就任しますので、引き続きどうぞよろしく申し上げます。